

科学研究費補助金（学術創成研究費）研究進捗評価結果

課題番号	17GS0203	研究期間	平成17年度～平成21年度
研究課題名	大気・陸上生物・海洋圏に係る温室効果気体の全球規模循環の解明		
研究代表者名 (所属・職)	中澤 高清（東北大学・大学院理学研究科・教授）		

【平成20年度 研究進捗評価結果】

該当欄		評価基準
○	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である

（評価意見）

地球温暖化問題として重要な研究課題である温室効果気体の全地球的分布や挙動についての科学的解明は我が国が世界的に貢献すべき分野である。本研究課題は酸素、二酸化炭素、メタン、一酸化二窒素の同位体を対象として、微量試料による高精度計測機器の開発、成層圏や対流圏における空間的かつ時間的観測、フィルン空気分析による長時間スパンでの濃度変動解析、全球大気輸送及び循環モデルの開発とそれによる数値解析などを行ってきた。その結果、当初計画以上の成果が得られつつあり、それらは世界的レベルの学術雑誌などに報告されている。研究組織は東北大学のほか、2大学、5国立研究所などの研究者で構成され、その間の協力関係は良好であり、また欧米の大学、研究機関との国際共同研究の成果も評価できる。

以上のように、学術創成研究費としての成果は高く評価でき、今後、研究代表者のリーダーシップがさらに発揮される形で研究を推進することにより、地球温暖化問題への科学的根拠となるデータを、全世界に提供できるものと判断する。

【平成22年度 研究進捗評価結果に対する検証結果】

研究進捗評価結果どおりの成果が達成された。